

# 徳島県三好地域ならではのワーケーション

～ほどほどの田舎・まちの規模なので一緒に何かができるまち～



三好市 / 三好みらい創造推進協議会



# 三好市とは、こんなところ

## 【三好市の概要】

面積：721.5 km<sup>2</sup>  
(東京都23区：619 km<sup>2</sup>)  
⇒全体の約9割が山林

人口：23,530人 (令和4年12月現在)

変遷：平成18年3月に、4町2村が合併、現在に至る

## 交通アクセス：

- 〈航空機〉羽田から、四国四県の各空港まで約75分
- 〈鉄 道〉新幹線：東京～岡山が約3時間半  
在来線：岡山～阿波池田が約1時間半
- 〈自動車〉大阪まで約3時間半／神戸まで約2時間半  
岡山まで約1時間半  
四国四県の空港を利用できる  
(最寄りの高松空港までは、約1時間)

## 主な観光資源：

吉野川、大歩危峡 (名勝)、祖谷かずら橋、剣山、黒沢湿原、  
四国霊場第66番札所・雲辺寺  
いけだ阿波踊り、祖谷平家まつり、雪合戦四国大会、  
ラフティングスポットなど





# 1. 従来型ワーケーションとは？

- 一般的に、ワーケーション（Workcation）とは、「ワーク（Work）＝仕事」と「バケーション（Vacation）＝休暇」を組み合わせた造語
- テレワーク等を活用し、リゾート地や温泉地、国立公園等、普段の職場とは異なる場所で「余暇を楽しみつつ仕事も行う」ことを指す

（出所：官公庁「新たな旅のスタイル ワーケーション&プレジャー」）

- 従来型としては以下のような分類が挙げられる

	保養・休暇重視型	リモートワーク施設提供型
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 個人の活力向上</li> <li>✓ 有給取得率・取得日数の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ リモートワークできる場の提供</li> <li>✓ 田舎が持つポテンシャルを感じつつ仕事</li> </ul>
業務内容	非日常業務の融合	日常業務（テレワークの延長）
参加者	個人（家族）単位	企業（複数社）単位
(事例)	<p><u>長野県</u> 信州のリゾート地でテレワークができる施設やプログラムを紹介し、「信州リゾートワーク」というコンセプトを提案</p> 	<p><u>和歌山県白浜町</u> 「白浜町ITビジネスオフィス」を整備IT企業を中心に、サテライトオフィス誘致を実施</p> 

出所：四国経済連合会「サテライトオフィス・ワーケーションが地域を変える～テレワーク時代における企業や人の誘致～」  
（2022年5月25日）より

## 2-1. 三好地域ならではのワーケーションとは？

企業が、**リスク**を取り、**経費**をかけてまで**地方**でのワーケーションに期待するものを  
マーケティング調査した結果

### 三好地域ならではの基本理念

- ① **企業（会社）**にとって**メリットのあるもの**でなければ、リスクやコストをかけて社員を送り出すことはない。
- ② **「その場所・地域ならではの」**を**企業の上層部**が**「腹落ち」**しないと、その場所・地域への選択はありえない。
- ③ 社内公募→**社員も「行ってきてよかった」、「機会があればまた行きたい」と満足**するところでないとは続かない

- **従来の「バケーション+仕事」ではなく、『企業にとって有益な三好地域ならではのワーケーションプログラム』**をご提供します。（ただ単にリモートワークできる場所を提供するだけではない）
- 参加者が「仕事をしっかりとできる環境」や「余暇を過ごす観光地やコンテンツ」も揃っております。
- 地域においては、継続的に関わる『**活躍・貢献人材（ミッションターンの・ミッションヴィジット人材）**』  
となっていただくことも目指しております。

## 2-2. 三好地域ならではのワーケーションとは？

### 企業にとって有益な三好地域ならではのワーケーションの分類および事例

	分類	目的	実施事項例
1	人材開発・研修型ワーケーション	非日常の場所における人材開発・育成	合宿所等の場所で講師を招いてのリーダーシップ研修、ラフティングやサバゲーを活用したチームビルディング研修を実施
2	営業調査型ワーケーション	企業における新規ビジネスチャンスを発掘	地域関係者（行政・企業等）との交流を通じて、地域課題の解決策を議論し新たなビジネスのネタを発掘
3	プロジェクト創出・推進型ワーケーション	新規ビジネスの実証実験および確立・拡大及び地域課題・問題の解決	滞在地域において地域課題解決の新規プロジェクト（企業発 or 地域発）の実証実験を実施し、横展開を図る
4	CSR型ワーケーション	社会貢献等の体験を企業ブランドに付与	滞在地域においてSDGs・地域貢献活動を実施し人材研修とともに企業PR
5	大人と子どものワーケーション	企業社員さんやご家族に喜んでもらう	個人だけでなく家族も帯同もしくは呼び寄せ、大人のテレワークに加えて、子供も体験・学習・交流プログラムを実施

## 2-3. 三好市地域ならではのワーケーションとは？

### 企業にとって有益な三好地域ならではのワーケーションの事例

#### 1. 人材開発・研修型ワーケーション



非日常として地域の企業や行政等と交流・共創しながら、「地域の課題発見・解決等」に取り組む研修により、「課題の発掘や解決ができる人材やキャリアアップ」へと自己革新・開発に結びつけ、企業にとって有益な人材となって帰っていく。

#### 3. プロジェクト創出・推進型ワーケーション



企業発もしくは地域発の地域課題解決に貢献することにより地域が実証実験の場や補助金等の提供を得ることもでき、地方発の新たなプロジェクトが創出・推進され、他地域への横展開も含め企業の実質事業の拡大につながる。

#### 2. 営業調査型ワーケーション



地域の問題・課題解決と企業の事業部の新規プロジェクト開発とは必ず結びつくので、一定期間滞在し、地域と共創しながら調査・研究することで新しいビジネスチャンスが発掘できる。（勤のいい社員さんは必ず見つけ、次の展開を考える）

#### 4. CSR型ワーケーション



人材不足の悩みを抱える地域のなかで「現地実働」として地域イベントへの参加、事業・教育支援等の地域貢献をすることにより、社員は新たな「気づき」に繋がる。また企業としてはCSR等としてのPR効果のあるブランドを得ることができる。

### 3-1. 大人と子どものワーケーション①

- 一般的なワーケーション参加者は、単身での参加が通常ですが、**その一方、家族（配偶者、子供）には大きな負担**がかかります
- 『**大人とこどものワーケーション**』は、リモートワーク等を行う方だけではなく、**お子様も含むご家族で参加いただく事が可能な**プログラムです
- 徳島県が全国に先駆けて導入した『**デュアルスクール制度**』も活用する事で、**地域の大人・子供たちとの交流・体験を深める事ができます**

大人とこどものワーケーションとは、大人はリモートワーク×子どもは体験・出会い

現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨今、短期のみではなく、より長期でテレワーク可能な企業が増えている</li> <li>・ 一方、単身での参加が主であり、家族（配偶者・子供）には負担がかかっている</li> <li>・ <b>家族帯同かつ長期でのワーケーションに対する潜在ニーズが高まっている</b></li> </ul>	
問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長期で親子連れがワーケーションするには、<b>子どもが学校を休まないといけない</b></li> </ul>	
具体的な施策	<p>(大人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異業種間交流可能なシェアオフィス、地域交流拠点などを整備し、地域人材と都市人材の交流を促進</li> </ul>	<p>(子供)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>デュアルスクール制度を活用、子供が学校を休まず、地域校に一時転入し、長期滞在できる環境を整備</b></li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大人のリモートワークに加えて、『<b>子どももワーケーション（＝地方での学習・活動）＋バケーション（各種体験・地域交流）</b>』の実施による生きた教育</li> </ul>	

三好での体験イメージ	
	
	<p>①料理教室を通じた交流会 来訪者と地域住民が互いの得意料理や伝統料理を一緒につくり会食する</p> <p>②お婆ちゃんのお仕事のお手伝い 地元のお婆ちゃんのお仕事（蕎麦打ち、こんにゃくづくりなど）を都会の子どもが手伝う</p> <p>③子ども阿波踊り体験交流会 地元の子どもが都会の子どもに阿波踊りを教え一緒に踊る</p>

## 3-2. 大人と子どものワーケーション②

- デュアルスクールや継続的な地域体験を組み合わせることで、既存のワーケーションとは異なる以下の様な特徴を持ちます

### (1) こども同士の出会い、新たな交流機会による学び

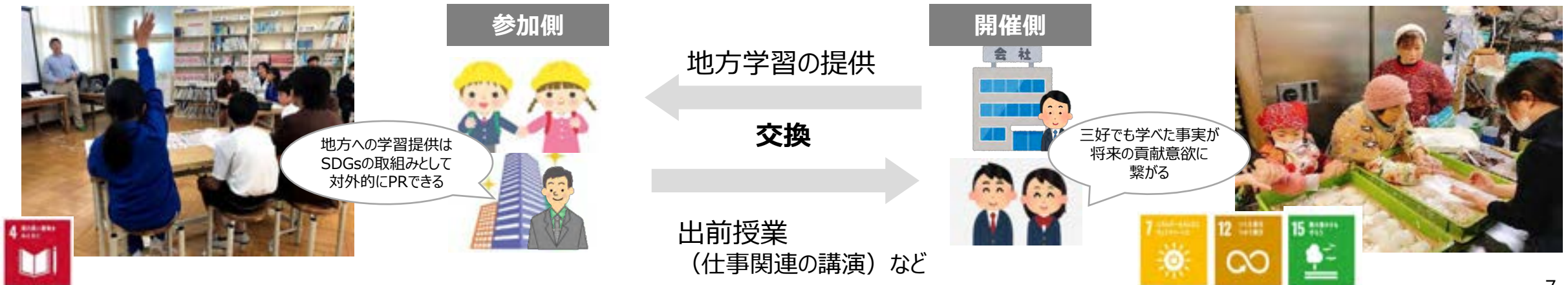
地域の子どもと都市部の子どもが共同学習・体験等を通じて、関係性を深め、新たな学びを得られる機会を提供する

### (2) 継続的な交流による、より深い地域体験

単発で終わる活動ではなく、継続的に取り組むコンテンツを提供することで、地域についてより深く体験することができます

### (3) 一方通行ではない学習

参加者が持つ知見・ノウハウを、交流活動等を通じご提供いただく事で、三好市の子どもたちも多くを学ぶことができます





### 3-3. 大人と子どものワーケーションイメージ③：プログラムイメージ

- 2泊3日程度のお試しプログラムから、2週間～の長期プログラムにも対応
- 大人同士、子ども同士が継続的により深く交流できるコンテンツや機会を提供いたします

#### 継続的に交流する仕組み（祖谷そばづくり体験の例）

デュアルスクール+体験（2週間～）							
参加者		月	火	水	木	金	土 日
1 W	大人	リモートワーク					地域住民との 交流
	子供	学校	地域 体験	学校			
2 W	大人	リモートワーク		出前 授業	リモートワーク		地域住民との 交流
	子供	学校			学校		

・地域体験

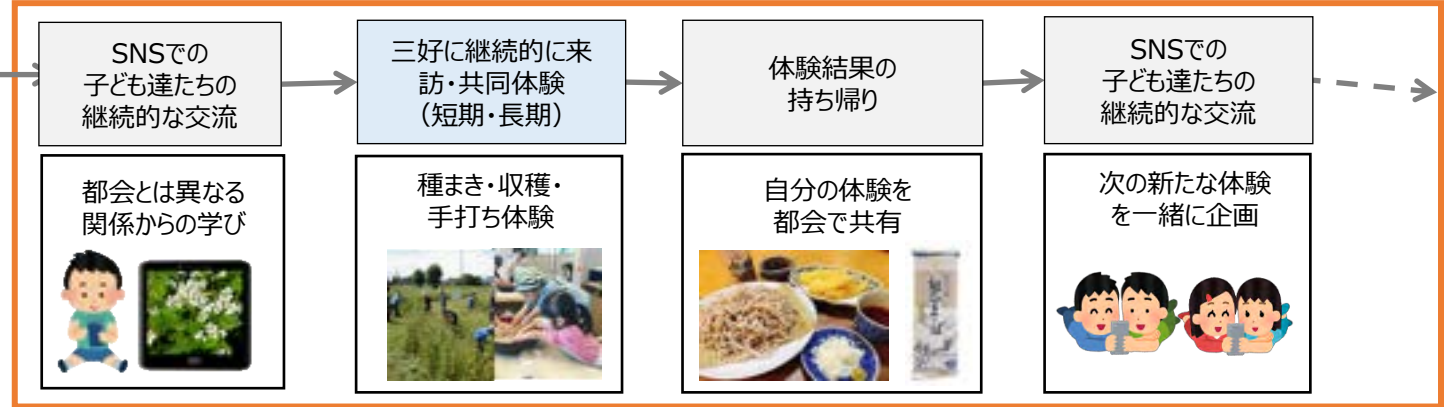


⇄

双方向の学習

・出前授業





#### 参加者の声

普段のお住まい：神奈川県  
 参加家族構成：父（50代）、母（40代）、長女（小4）、次女（小1）  
 滞在期間：1週間  
 参加理由：地域の方々のお役に立つお手伝いを通じて、地域の文化を子どもたちに学ばせたいと思ったからです。

#### 感想

- （父）自分一人ではなく家族全員で訪れたことで、仕事だけでなく様々な体験や思いを家族と共有でき非常に濃密なワーケーション体験だった。次回はもう少し長期間滞在したい。
- （母）租谷の年越しそばを親子で手伝うという観光では味わえない体験ができた。地元の食文化である租谷そばを残そうとしている人たちの思いを感じることができた。
- （子ども）三好の子たちと一緒にたくさん遊べたのが楽しかった。そば打ちのお手伝いをとおして働くことは大変なことだと思った。でも働くといいこともいっぱいあると思った。



## 4. 三好地域ならではのワーケーションにおける地域交流・体験・研修プログラム

- 事前にご相談の上、ご希望に応じた、各種交流・体験（地域住民・企業交流及び体験コンテンツ等）をご提案させていただきます。

コンテンツ		概要
三好市の 〈自然・歴史〉 をとおした交 流・体験	自然研究	動植物の生態研究／虫取り／星の観察／地すべり観測所と地形・地質の見学会（京大・徳島地すべり観測所）／ジオパークガイド…
	自然体験	ラフティング／カヤック／SUP／ウェイクボード／川遊び／シャワークライミング／キャンプ／剣山登山／パラグライダー／パラスポーツ／ゆるスポーツ…
	歴史・文化研究	うだつの町並み／平家伝説／阿波おどり体験／四国八十八霊場（寺巡り）／たぬき・妖怪伝説／賢見神社（動物霊の除霊の神社）護摩焚き体験／池田高校野球部（桜陵会館）／たばこ資料館／藍染・あかね染…
	リフレッシュ	ノルディックウォーキング／湿原ウォーキング／焚き火／テントサウナ、谷のサウナ／体育館でサバゲー研修／ブロンプトンでポタリング／日帰り温泉…
三好市の 〈産業〉をとお した交流・体験	農業体験	稲作体験（田植え他）／世界農業遺産「にし阿波の傾斜地農耕システム」見学／たかきび箸づくり…
	ジビエ体験	罠の設置～狩猟／解体／加工体験／有害鳥獣被害の体験／猟師小屋訪問／ジビエ料理…
	林業体験	間伐作業／ロープワーク／薪割り／原木シイタケづくり…
	酒蔵体験	酒蔵見学／仕込み・醸造／酒粕取り／ラベル作成／マーケティング…
	エネルギー学習	ダム（管理事務所）見学／ウマバプロジェクト（脱炭素、スマートアグリ）の見学…
	地元食文化体験	祖谷そばづくり体験（そばの栽培～収穫～そば打ち～販売）田舎もちづくり体験（雑穀づくり、もちづくり）／ひらら焼き…



## 5. ワークーションにおける目的地選定のポイント

- ワークーションプログラムに参加する地域を選ぶには、以下のようなポイントを検討しておくことが重要

選定のポイント	概要	三好市の場合
1) アクセス	都市圏からの移動手段、二次交通	(JR)岡山駅から特急で乗り換えなしで1時間半、首都圏からは4～5時間、関西圏からは2～3時間程度。(飛行機) 四国各地の空港から概ね1時間程度
2) 仕事環境	滞在施設、Wi-Fi環境	リモートワーク対応住宅やサテライトオフィスが整備されており、快適なテレワークが可能です(徳島県は全国屈指の光ブロードバンド環境整備の先進県です)
3) 付随する各種コンテンツ・サービス	ワークーションプログラムにおけるコンテンツ	自然・歴史・文化、レクリエーションなど、ご希望に合わせたコンテンツを提案します
4) 余暇コンテンツ	観光・レジャーコンテンツ	大歩危・小歩危、かずら橋、ラフティング等、週末に観光できる名所もたくさんあります「四国のへそ」三好市からは四国四県へのアクセスはとていいです
5) 飲・食	魅力ある地元食材、飲食店	祖谷そば、ひらら焼き、ジビエ、地酒・地ワインなど、魅力ある食を楽しむことができます
6) 家族が過ごすための環境	学校、保育、家族向けコンテンツ	地元教育機関(学校・自然教育)と連携しデュアルスクールが実施できる体制あり、中長期の滞在中でも子どもが授業で後れを取る懸念が払拭されます
7) 各種周辺施設	市役所、病院、スーパー等	阿波池田駅周辺に主要施設(スーパー、コンビニ、銀行、病院、行政機関など)がコンパクトに集積して生活に便利です
8) サポート体制	問合せ対応、現地対応等のコーディネーター	市より委託を受けた中間団体(地域再生推進法人)等がサポートします

## 6. お問い合わせ先／サポート体制

- プログラム・滞在施設に関する相談など、以下までお気軽にお問い合わせください

お問い合わせ先

相談内容	問合せ先		
	主体	連絡先	担当者
プログラム全般について	(一社) 三好みらい創造推進協議会	TEL : 0883-72-2010 Mail : info@miyoshi-mirai.jp	丸浦
リモートワーク対応住宅の利用について		TEL : 090-6883-7000 Mail : remotework.Miyoshi@gmail.com	国金
ウマバ・スクールコテージの利用について		TEL : 090-6883-7000 Mail : contact@umaba-sc.com	国金
地域交流拠点施設「真鍋屋」の利用について		TEL : 080-1993-2000 Mail : info@miyoshi-mirai.jp	小西
研修等各種コンテンツについて		TEL : 090-6883-7000 Mail : remotework.Miyoshi@gmail.com	国金、横山